

大学名	筑波大学		
University	UNIVERSITY OF TSUKUBA		
学部/研究科	人文社会系		
刘雅静.JPG	FACULTY OF HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES		
研究指導者	砂川 有里子	職名	教授
Research Advisor	SUNAKAWA YURIKO	Position	PROFESSOR
帰国留学生	劉 雅静		
Former International Student	LIU YAJING		
派遣期間	2014年10月10日 ~ 2014年10月19日 (10日間)		
Period of Stay	10 days (10/10, 2014 - 10/19, 2014)		

<帰国留学生プロフィール/Profile>

国籍	中華人民共和国
Nationality	PEOPLES REPUBLIC OF CHINA
所属機関	対外経済貿易大学・講師
Affiliation	University of International Business and Economics
現在の職名	講師
Position	Lecturer
研究分野	日本語学
Major Field	JAPANESE LINGUISTICS



劉雅静(対外経済貿易大学で)
Liu Yajing at UIBE

<研究指導者からの報告/Research Advisor Report>

①研究指導概要 / Outline of Research Guidance
<p>劉雅静氏は、2012年3月に「日本語の談話における「ダ」の意味機能の研究」と題する博士論文を完成させたが、それからすでに2年が経過しており、研究を進展させるにはその後の日本学における新しい研究成果を取り入れる必要がある。そこでこの機会に、日本における日本語学の新しい動向を伝え、博士論文の内容をさらに深めるための研究文献の紹介を行った。さらに、劉雅静氏のこれまでの研究状況と中国での研究環境に関する聞き取りを行った上で、今後新たに執筆する論文の構想と論文執筆の方法について話し合った。論文の内容としては、主として日本語のコピュラ文を対象とした日中対照研究を進めるという方向を確認し、再度研究構想を立て直し、具体的な研究計画と日程的な予定を立てることで、今後の研究を促進させるよう指導した。また、大学での日本語教育に関する新しい動向を伝え、教材や教授法の紹介を行った。</p>
②研究指導の成果 / Results of Research Guidance
<p>劉雅静氏に日本語のコピュラ文研究に関する最新の情報を提供し、出版助成金などの可能性について話し合いを持つことができた。また出版に向けての論文の書き直しについて検討し、執筆計画を構想した。このことにより劉雅静氏の日本語学研究を促進することができた。また、日本語教育の教授法について最新の情報を提供し、いくつかの重要な教材を提供した。これにより、劉雅静氏の勤務校における日本語教育の方法を改善するための準備を整えることができた。</p>
③訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.
<p>劉雅静氏の勤務校である対外経済貿易大学において、大学院生と教員を対象としてコーパスを活用した日本語研究の方法を示し、その事例として類義語研究について講義を行った。また、大学院生が日本語研究を進める際の研究文献の探し方や読み方について指導した。さらに、劉雅静氏が修了した北京日本学研究中心において、大学院生と教員を対象として、コーパスを活用した日本語研究の方法と日本語教育用語彙表の構築と活用法についての講義を行った。また、同センターの教員と共同研究に関する意見交換を行い、来年の同センター30周年記念に向けて、共同でパネルディスカッションを行う可能性について討議した。また、北京大学日本語MTIセンターの馬小兵主任を訪問し、同大学での日本語学と日本語教育の現状について情報を得て、今後の日中間の日本語学に関する学術交流の可能性について意見交換を行った。</p>

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

①研究指導の成果 / Results of Research Guidance
日本語のコピュラ文に関する最新の情報をいただき、今後の研究方向を確認し、新たな論文執筆の研究計画をたてることができた。博論の出版について相談し、出版に向けての論文の書き直しについて検討できた。また、日本語教育現場で直面している問題について相談し、日本語教育の方法についてのご指導も得た。
②今後の計画 / Further Research Plan
博論の出版に向けての研究相談や新たな論文執筆について相談ができたことで、日本語学研究をより広く、より深く進める目処が立った。今後は談話分析やコーパス研究の最新成果を取り入れながら、コピュラ文の日中対照研究や学習者の習得研究を進めていきたい。近い将来の博論の出版も目指して頑張りたい。
③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance
留学を終えて帰国してから、最新の研究情報や研究資料を簡単に入手できなくなることを痛感している。帰国留学生研究指導事業のお陰で、指導教官から直接有益な情報を提供していただき、研究相談もできた。とても助かった。この事業は留学生の帰国後の研究促進に役立つことを信じ、より多くの留学生に利用できたらと思う。



対外経済貿易大学での講義
Lecture at University of International Business and Economics



対外経済貿易大学での講義
Lecture at University of International Business and Economics